

クロックアップ・サイリックス第3回公演上演台本

双す六こ三ろ二く味ざ
三ざ二ん味ま
三ま二い味い

作・演出／川原 武浩

登場数字

【6】 【5】 【4】 【3】 【2】 【1】

濱崎留衣 上瀧昭吾 森久智江 長岡暢陵 池田晃子 江崎穰

紫煙の立ちこめた、薄暗い場末の酒場。その扉には、しっかりと門（かんぬき）が降ろされている。扉のそばのイスには用心棒【2】がスポーツ新聞を広げ、カウンターの向こうには、銜え煙草で経済新聞を広げる女マスター【6】。小さなポーカールールではカードを手に対峙する二人【3】【4】。その傍らで、勝負を静かに見つめる外馬【5】。煙草のチリチリと焼ける音だけが静かに吐き出されるため息が澱んだかのように、退廃的な空気が部屋中を満たしている。

【3】
【4】
ん？
・・・落ちるぜ。

【3】、灰皿を差し出す
見れば【4】の煙草は今にも灰が落ちそうである。

【4】
賭ける？

【3】、ポケットから不二家のミルクィを取り出して場に張る。

【3】
【4】
【3】
【5】
【4】
【3】
【5】
【4】
【5】
10数える間に落ちる。
11数えても落ちない。（ミルクィ2個を張る）
（ミルクィを2個追加して）レイズ。
乗らせてもらうよ・・・落ちない方に。（ミルクィ3個を張る）
（12個ミルクィを場に追加して）・・・レイズ。乗る？
（外馬の表情をうかがう）・・・。
マスター、両替。

【5】、無造作につかみ出した札のズクを、【2】に渡す。
【2】、【6】のところへ札を持っていき、ミルクィ10個と引き替える。
【5】、ミルクィを受け取って・・・

【5】
【3】
乗った。（場にミルクィを10個張る）
よし、コール。

【3】、片手を使って指でカウント。

【5】 一、二、三、四、五、六、七・・・

と、【4】、その手の煙草を立て、灰が落ちないようにしてしまふ。

【3】 ……そういうの、ありか？

【4】 早く数えたら。あと4つ。

【3】、指でカウントを続ける。

【5】 ……八・・・九・・・十、

【3】 ……十一。

【3】、開いた人差し指で煙草をはじく。

灰がポトリと落ちる。

【3】、ニヤニヤと笑いながら場に張られたミルキーに手をのぼす。

その手首を押さえつける【4】。

いざごさの雰囲気に立ち上がる用心棒。

マスターは新聞から少しだけ視線を外してその様子に目をやる。

【3】、もう一方の手を伸ばそうとした瞬間・・・

【4】 (同時に) てめえ!!

【5】 (同時に) イカサマだ!!

と、その瞬間、門ごと扉が吹っ飛び、一人の男【1】が姿を現す。

音楽!

ずぶぬれの帽子とレインコート。

そして、その髪の前から雨を滴らせながら。

室内に雨の音が流れ込んでくる。

男、静かに顔を上げ・・・

【1】 耳の奥にこだまするのは、いつでも雨の音だけで、そこにあつたはずの声も叫

びも悲しみも、雨に霞んで見えません。道に描かれた落書きは跡形もなく雨に流

れ、西へと向かったあなたの姿は盤上のはるか地平、サイの転がる足音も途絶え

ました。元気ですかと問いかけても、この雨です。願わくば、あなたの行く手を

雨雲が遮らないように。祈ることしかできません。幸せですかと問いかけても、

この雨です。願わくば、あなたの行く手を雨雲が遮らないように。祈ることが精

一杯です。

風は西へ。雲も流れ、この雨もいつかあなたに追いつくのでしょうか。それと

もあなたは、いつものような軽やかな足取りで、追い風を受けながらどこまでも

往くのでしょうか。祈っています。祈っています。この雨雲が、あなたに追いつ

くようにと。

大きな音を立てて、扉が自然に閉じる。

雨音は消え、先ほどの緊張感はどこへやら、そこはただの場末の酒場である。

みれば【3】【4】は「ポーカー」ではなく「スピード」で遊んでいる。

【3】（同時に）いっせーのせ。

【4】（同時に）いっせーのせ。

【6】（新聞を置いて）いらっしやいませ。（【2】に）タオルお渡しして。

【2】あ、はい。

【2】【1】、タオルを手【1】の所へ。

【2】どうぞ。

【1】どうも。

【1】、帽子を取り、タオルで濡れた髪を拭く。

一旦はレインコートを脱ぎようとするが、なにを思ったのかそのままの姿でカウンターに座る。

【6】いらっしやいませ。．．．あの、お客様、コートを。

【1】いや、雨がやんだら、すぐ出るから。

【6】そうですか。．．．どうです、外は。

【1】ひどいね、土砂降りだよ。風も強いし。とても歩いてらんない。

【6】目も開けてられないほどに？

【1】え？

【6】いいえ、なんでも。．．．ご注文は？

【1】（周りを見回して）メニューを。

【6】（壁を指して）メニューでしたら、こちらに。

【1】メニューを。

場の雰囲気は凍り付く。

【6】あ、はい、メニューですね。どうぞ。

【1】（メニューを一瞥して）じゃあ、とりあえずビール。

【6】生と瓶とございますが。

【1】じゃあ、生で。

【1】、おしぼりで顔を拭いたりする。

その姿はまごうかたなき、市井の一市民である。
しかし、なぜか【1】以外は、異様な緊張感につつまれている。

【6】・・・何かおつまみはいかがでしょうか。

【1】、「メニューと店中をじろりと見渡して。」

【1】ミルキーを。

緊張感が増す。

【6】失礼ですが、お客様、こちらへはどなたかのご紹介で？

【1】え、会員制なの？　ここ。

【6】いえ、そういうわけではございませんが。その、私どもの店、いつも常連様ばかりで、あまり新しい方がいらっしやらないもので。

【1】はあ。

【6】あまり派手な看板も出しておりませんし、広告などももちろん。

【1】都会の隠れ家ってやつですね。最近はやってるんですよ、そういうの。

【6】いや、そんな、お恥ずかしい。（ビールを出して）どうぞ。

【1】あの、ミルキーを。

【6】ええと、申し訳ございません。ミルキーはメニューに・・・

【1】（ポーカークーテーブルを指して）だって出してるじゃない、あそこ。

【6】ごもつとも。

【1】あるんですよ、裏メニュー。

【6】・・・それでは、お代を。

【1】え？

【6】ミルキーは、前金でお願いしております。

【1】そう。いくら？

【6】いくらでも。

【1】あ、細かいのがないや。（財布から万札を取り出して）いいかな。

【6】ありがとうございます。

【6】、「万札を受け取り、ミルキーを1個テーブルの上に出す。」

【1】・・・これだけ？

【6】はい。

【1】冗談でしょ。

【6】大まじめです。

【1】お釣りは？

【6】ございません。

【1】 ここ、そういう店？
【6】 そういう店とおっしゃいますと？
【1】 ぼったくりかよ。
【6】 滅相もない。
【1】 返せよ。
【6】 じゃあ、それ、返してください。
【1】 ほら。
【6】 どうぞ。

【6】、【1】にテラ銭を引いた九千円を返そうとする。
【6】と【1】、ミルキーと金の引っ張り合いになる。

【1】 千円は。
【6】 手数料です。
【1】 全部返せよ。
【6】 駄目です。
【1】 どうしろってんだよ。
【6】 じゃあ、勝負しますか。
【1】 勝負？
【6】 賭けますか？
【1】 賭けるって、何に。
【6】 なんでも。
【1】 じゃあ、腕相撲。
【6】 私、こう見えて柔道3段ですが、よろしいですか。
【1】 私、みたまんま英検3級なので、よろしくないです。
【6】 そうですか。

【1】、勝負の内容に悩む。

【3】 マスターの勝ちに1口。
【4】 ハンデは？
【3】 2倍付けでどう？
【4】 5倍。
【3】 がめついね。4倍じゃどう？
【4】 乗った。マスターの負けに1口。
【5】 引き分けに1口。
【1】 ちよ、ちよっと、なにやってんだよ。
【3 4 5】 賭け。
【1】 勝手に人に賭けるな。
【5】 まあ、そう気にしないで。

【1】 気になりますよ。
【3】 大丈夫。恨んだりしないから。
【1】 当たり前でしょ。
【4】 当たり前じゃないよ。よくあるんだよ、南米あたりじゃ。スポーツ選手が殺されちゃったりするの。
【1】 脅かさないでくださいよ。
【3】 だから大丈夫だよ、恨まないから。
【1】 だからやめろって!! ……もう、いいよ。

【1】、店を出ようとする。
【2】、立ち上がり、無言で扉の前に立ちはだかる。

【6】 逃げるんですか？
【1】 逃げるんじゃないですか、帰るんです。
【6】 また、逃げるんですか？
【1】 また？
【6】 いつも、そうなんでしょう。
【1】 失礼だな、あんた。
【6】 いつも、勝負となると逃げてばかりだ。
【1】 あんた、俺のこと知らないだろう。
【6】 知りません。……でもわかるんですよ。あなた、そういう目をしてる。まるでぶぬれの野良犬みたいな目だ。
【1】 何とでも言え。

【1】、扉の方へ向かう。

【1】 (【2】に) だけよ。

【2】、不思議な技で【1】の進路を変更し、カウンターに戻してしまう。

【1】 !?

【6】 店に入って、なんとなくメニュー見て、どうせたいしたものも頼みやしないのに、わざわざ手元でメニュー見て、見ても見なくてもとりあえずビールを頼んで、生か瓶かと聞かれたら、つい「生」なんて言ってしまうあなたです。席に着いたらおしぼりで顔まで拭くようなあなたです。きっと旅行から帰ってきたら「やっぱり我が家が一番一番」なんて言ってしまうあなたです。普段ならヤッコと枝豆で決まりなあなたです。……勝負なんてしたことないでしょう。そんなあなたがよりにもよって、今日に限って、どうしてミルクィなんて注文できるんですか。

【1】 ……好きなんだよ、お菓子のつまみでビール飲むのが。
【6】 変わってますね。

【1】 あんたにや関係ないだろ。
【6】 これなんか、どうです。

【6】 サイコロを取り出す。

【6】 一回勝負です。出た目の大きい方が勝ち。同じ目だったら引き分けです。経験も技術も関係ない、必要なのは運だけです。
【1】 ……。

【2】、いつスリとったのか、【1】の財布を【6】に渡す。
【1】、自分のポケットに財布がないのを確認して青くなる、

【6】 (財布の中身をのぞき込んで) ほお、結構持つてるじゃないですか。どうですか？ どうせなら、1本と言わず、もっと大きく勝負しませんか。貴方が勝てばこの財布の中身、3倍にしてお返ししましょう。確率は五分五分。悪くない話だと思いますが？

【1】の顔に複雑な表情が浮かぶ。

【6】 どうです。やりますか。それともまた逃げますか。

【1】、ポーカーテーブルの3人を追い払うと、どつかりと腰を降ろし、鋭い視線で【6】を睨みつける。

【1】 ……乗った。
【6】 いいでしょう。

【6】、ポーカーテーブルの反対側の椅子に座る。

【3】、【4】、【5】、それぞれの賭けたサイドに立つ。

【2】、カウンターから吉野家の牛丼の並にそっくりな丼と、一枚の大きな紙を持ってくる。

【1】 それは？

【6】 ま、おまけみたいなもんです。とりあえずここに置いて、と。…人生双六。私が作ったやつなんですけど。どうです？

【1】 邪魔だよ。

【6】 お気に召さなければ、福笑いとかもありますが。(表)鈴木その子バージョンと、(裏)黒柳徹子バージョン。(目・鼻・口を取り出して)パーツは…。ん、どっちがどっち？ この目はその子？ それとも徹子？ そもそもこれは右目？ それとも左目？ うわっ、こんなところに目が！！ びっくりした！ 目

がボーン！！　ビヨヨヨヨーン。ヨーンヨーンヨーン、ヒューッスタツ！　着地。
（田の中勇風に）「オイ、キタロウ」（戸田恵子風に）「どうしたんだい、父さん」
「タマラン。マタメノナカニゴミガハイッタ、トツテクレ」「とうさん、まぶた
がないからね」

【1】（テーブルを叩いて）どけろって言ってんだよ！！　なんだ、双六だの福笑い
だのって。こちらら真剣勝負なんだよ。家族そろって正月の暇つぶしやってるわ
けじゃねえんだぞ。

【3】・・・あんた、察しが悪いね。

【1】何がだよ。

【3】井置いて、サイコロなんか振ってたら、見るからにバクチじゃないの。いいか
ら置いときなよ。

【4】そうそう、悪いことは言わないから。

【5】要するにね、建前なんだよ。建前。

【3】温泉に行つて、麻雀やりました。勝ちました。いいえお金は賭けてません。

【4】図書券です。

【5】ビール券です。

【3】デパートの商品券なんです。でもあとで大黒屋に売りに行きます。

【4】パチンコやりました。勝ちました。景品にライターの石もらいました。パチン
コ屋の裏口を出ると、あらまあなんと偶然。すぐ近くにそのライターの石を買い
取ってくれるお店を発見。ラッキー。

【5】スロットやりました。勝ちました。景品に万年筆もらいました。スロット屋の
裏口を出ると、あらまあなんと偶然。すぐ近くにその万年筆を買い取ってくれる
お店を発見。ラッキー。

【3】おお、なんとこのお店も。

【4】あの店も。

【5】どの店も。

【3】日本全国津々浦々

【4】北は択捉島から南は沖ノ鳥島まで、

【5】西は与那国島から東は納沙布岬まで、

【3 4 5】日本全国どこのパチンコ屋に行つても、裏口から出てすぐの所に景品を買つて
くれる親切なお店がある。そんなわけがあるかー！！　どうなってんだこの
国！！　責任者出せー！！　暴れるぞコラー！！

【5】でも認められてるんです。建前があるから。

【3】然るに、この勝負も、実際のところサイコロ博打。

【4】しかし、建前上は楽しい双六大会。

【5】あがった人にはミルクィを進呈。

【3】しかも裏口を出て角を曲がったタバコ屋の、

【4】普段は微動だにしない梅干しババアが

【5】光の早さでミルクィを現金に交換してくれます。

【3 4 5】完璧だ。

【3】 だからね、悪いことは言わないから。
【4】 置いときなさい、ここに。
【5】 ね。

【1】、勢いに負けたのかどうでもよくなったのか、渋々と認める。

【6】 よろしいですか？

【3】【4】【5】、それぞれの賭けたサイドに戻る。

【6】 じゃあ、お先に失礼します。

チンチロリンと、サイの転がる音が響く。

一斉に器の中をのぞき込む【3】【4】【5】

【4】 # あー。

【3】 # よっしゃ！

【5】 # (無言でうなづく)

【4】 # なんだ、いきなり勝ち目なし？

【6】 # すみませんね。6です。

【1】 # ……

【6】 (人生双六の駒を動かす) 1、2、3、4、5、6。「3進む」1、2、3と。
さ、どうぞ、あなたの番です。

【1】、凍り付いたかのように動かない。

【6】 どうしました、あなたの番ですよ。

【5】 ほら、頑張つて。

【3】 頑張らなくていいからね。

【4】 どっちでもいいよ、もう。

【1】、額に脂汗を滲ませ……

【1】 振るぞ。

【6】 どうぞ。

【1】 振りますよ。

【6】 だからどうぞ。

【1】 振っちゃうぞー！！

【3 4 5】 早く振れよ！！

【6】 まあまあまあ、そう急かさなないで。

【1】 1、2の3、そーれっつ。(投げ切れなかった) 1、2、3、とりゃー!!!!

(深呼吸) 1、2、3、2、1、

【3 4 5】 戻るなよ!!!

【1】 ……2、3、いくぞ、せーのっ!!!!

息詰まる一瞬。

井の中に投げ込んだかに見えたサイコロは、未だ【1】の指先に。

もどかしげな、粘りつくような空気。

と、その瞬間、店のBGMがフルボリュームで炸裂する。

【1】 わあっ?!?!!

その音に驚いて、サイコロを取り落とす【1】。

チンチロリンとサイコロの転がる音が響く。

【1】、結果も見ずに【6】から財布をひったくり逃げだそうとする。

【2】、【1】を正面から組み伏せようとする。

【1】、まさかの巴投げで【2】を投げ捨てる。

【1】、扉を開け放ち雨の中へと飛び出していく。

【2】【3】【4】【5】複雑に絡み合って倒れている。

【3】 逃げた。

【4】 逃げた。

【5】 振り逃げだ!!!

【2】、急いで後を追う。

【3】【4】【5】もあわてて後を追う。

土砂降りの雨。

その中に【1】が飛び込んでくる。

続いて【2】、やや遅れて【3】【4】【5】も走り込んでくる。

【1】 火だるまなのに、ずぶぬれなのは、いったいどういうことでしょうか。一か八かというけれど、出る目はいつでも1ばかり。今回こそは、今日こそは、違うと思っていたけれど、かすりもせず三振です。万に一つのラッキーなのか、それとも恥の上塗りか、一塁ベースに向かう白線は、鈍足の僕にとってはいつ果てるともない、長い長い道のりで、もちろん後を振り返る余裕もなく、ただただドタドタと、無様に一塁ベースに向かって走りつづけるしかないそんな僕は、どうしていつも火だるまなのにずぶぬれなんでしょうかああっ!!!

【3 4 5】 キャッチャー! ファースト!!!

キャッチャーマスクをかぶった【2】、鋭い肩で【6】に何かを投げる。

【1】、一塁ベースにヘッドスライディング。

【6】、井の中からサイコロをつまみ出して・・・。

【6】 (サイコロの目を見せて)・・・はい、アウト。1。「ふりだしに戻る」

音楽！

静静と、全員のポジションがそれぞれの位置に戻っていく。

(シーン0終了)

紫煙の立ちこめた、薄暗い場末の酒場。

その扉には、しっかりと門（かんぬき）が降ろされている。扉のそばのイスには【2】が経済新聞を広げている。

カウンターの向こうには、銜え煙草でスポーツ新聞を広げる【6】。

小さなポーカーテーブルではカードを手に対峙する【3】【4】。

その傍らで、勝負を静かに見つめる【5】。

煙草のチリチリと焼ける音だけが静かに。

吐き出されるため息が澱んだかのように、退廃的な空気が部屋中を満たしている。

【4】・・・落ちるよ。

【3】ん？

【4】、灰皿を差し出す

見れば【3】の煙草は今にも灰が落ちそうである。

【3】賭ける？

【4】、ポケットから亀田のハッピーターンを取り出して場に張る。

【4】10数える間に落ちる。

【3】11数えても落ちない。（ハッピーターン2個を張る）

【4】（ハッピーターンを2個追加して）レイズ。

【5】乗らせてもらうよ・・・落ちない方に。（ハッピーターン3個を張る）

【4】（12個ハッピーターンを場に追加して）・・・レイズ。乗る？

（外馬の表情をうかがう）・・・。

【5】マスター、両替。

【5】、無造作につかみ出した札のズクを、【2】に渡す。

【2】、【6】のところへ札を持っていき、ハッピーターン10個と引き替える。

【5】、ハッピーターンを受け取って・・・

【5】乗った。（場にハッピーターンを10個張る）

【4】いいよ、コール。

【3】、片手を使って指でカウント。

【5】 一、二、三、四、五、六、七・・・

と、【3】、その手の煙草を立て、灰が落ちないようにしてしまおう。

【4】 ……そういうの、あり？

【3】 早く数えろよ。あと4つ。

【4】、指でカウントを続ける。

【5】 ……八、…九、…十、

【4】 ……十一。

【4】、開いた人差し指で煙草をはじこうとするが、【3】はその手をす
るりとかわす。

【3】、タバコを一服。

【3】 はい、ご愁傷さま。

と、その瞬間、扉をリズミカルにノックする音。

【2】、新聞を置き、立ちあがる。

【2】 押してもダメなら

【1】 引いてみな。

【2】 引いてもダメなら

【1】 また押して

【2】 それでもダメなら

【1】 ロボ根性。

【2】 1押し、2押し、3に押し、

【1】 押してダメでも押し破る。

【2】 プロペラぶるるん空飛んで

【1】 どっこい負けるかロボ根性。

【2】 デンデンガンガンホイデンガン、頑張れロボコン。

【1】 デンガラガッタデンガラガーター。

間。

【2】 ……お引き取りください。

【1】 ふぎけんなよ、コラあっ！！！！

と、門ごと扉を吹っ飛ばし、一人の男【1】が姿を現す。

ずぶぬれの帽子とレインコート。
そして、その髪の手から雨を滴らせながら。
室内に雨の音が流れ込んでくる。

【1】、扉を閉じる。

【1】フルコーラス歌わせておいて、帰れたあどういうこった。

【2】合言葉が違ってますが。

【1】どこが。

【2】デンガラガッタデンガラガッター。

【1】合ってるじゃねえか。

【2】ずれてます。タメが足りないんです。こうもつと引きつけて、腰の回転でスム

ーズに運ぶように、デンガラガッタデンガラガッター。

【1】デンガラガッタデンガラガッター。

【2】(首を横に振る) 練習しといてください。次は入れませんよ。

【2】、【1】にタオルを渡す。

【1】、レインコートを脱ぐと、【2】に渡す。

その背にはなぜかネギが一本背負われている。

【6】いらつしやいませ。

【1】ここに来るといつもひどい雨だ。

【6】それは失礼を。

【1】別にあんたのせいじゃないけどさ。

【6】ごもつとも。

【3】いつもの夕立だろ。すぐにあがるよ。

【6】ご注文は？

【1】(金を放り出して) ハッピーターン。

【6】お飲物は？

【1】いい。

周囲の雰囲気は凍り付く。

【3】相変わらず、わかってないねえ。

【4】建前、わかってる？

【5】変でしょ、つまみだけ置いてて、飲み物ないの。

【1】・・・じゃあ、とりあえずビールを。

【3】進歩無いね、あんた。

【5】こないだもビールじゃなかったっけ？

【4】どうせまた「生」頼むんでしょ？

【1】(凶星)・・・瓶で。

一同、【1】のリアクションに嘆息。

【3】 鴨がネギしょって、鍋までくわえて来たよ。
【4】 あのね、頼みたければ頼めばいいじゃない、生。
【5】 いちいち人の言うこと聞いたら、勝てるもんも勝てないよ。
【1】 ……じゃあやっぱり生で。

一同、【1】のリアクションに深い嘆息。

【5】 だからって、元に戻さなくてもいいんじゃない？
【3】 ますます思うつぼだな。
【4】 ねえ、自分の意見って持つてる？
【1】 (切れた) じゃあどうしろってんだよ！！
【3】 切れた。
【4】 切れた。
【5】 切れましたね。
【3】 今、プチーンって切れましたね。
【4】 【1】の頭を触って) このへんと。
【5】 【1】の頭を触って) このへんと。
【3】 【1】の頭を触って) このへんが。

【1】、突然高速でヒンズースクワットを始める。
どうも、マジギレしそうな自分を抑えているらしい。

【1】 押忍、押忍、押忍、押忍、押忍・・・
【3】 なんだ？
【4】 なに？
【5】 なんでしよう。
【1】 押忍、押忍、押忍、押忍、押忍・・・
【3】 不可解だ。
【4】 意味不明ね。
【5】 理解不能ですな。
【3】 ひよっとして、あれか。我慢してるのか。
【4】 我慢？
【3】 抑えてるんじゃないの、切れそうなのを。
【5】 なるほど。
【3】 こういうときはとりあえず・・・
【4】 1、じっと観察する。
【1】 押忍、押忍、押忍、押忍、押忍・・・

【3】 特に変化ないぞ。
【5】 2、見ないふりをする。
【1】 押忍、押忍、押忍、押忍……
【4】 ……気になる。
【3】 3、一緒にやる。
【1】 押忍、押忍、押忍、押忍……

【3】【4】【5】、一緒になって……

【3 4 5】 押忍、押忍、押忍、押忍……意味ないじゃん。

【3】【4】【5】、すぐにへばる。

【4】 4、数を数えてあげる。
【1】 押忍、押忍、押忍、押忍……
【5】 1、2、3、4……
【3】 いや、1からじゃないだろ。
【4】 つていうか、そもそも今いくつ目なの。
【3】 それ以前になんか回数に意味があるのか。
【4】 ……ないね。
【5】 5、夕日に向かって走る。
【3 4 5】 (さわやかに走る) わーい。

【3】【4】【5】、夕日の方角から戻ってくる。

【3】 6、切れるかどうか賭ける。
【4】 切れる方に3枚。
【3】 切れる方に5枚。
【5】 切れる方に10枚。……賭けにならないな。
【3】 んじゃ、はらたいらに千点。
【4】 篠沢教授に一万点。
【5】 カンガルー募金に全部。
【1】 (爆発) 押ー忍っっっっっ！！！！！！

【1】、爆発して三人に飛びかかろうとする。

【6】 お客さん！！

ドスの聞いたその声に、一瞬にして静かになる酒場。
音の悪い有線放送の音楽だけが静かに流れる。

【6】 ご注文は？
【1】 ・・・・ビールを。
【6】 瓶と生とございますが・・・生で？
【1】 あ、はい、・・・生で。
【6】 熱くなっちゃあ、バクチには勝てませんよ。

【6】、【1】にハッピーターンを渡す。

【1】 【6】に 勝負だ。

【6】 お断りします。

【1】 逃げるのか。

【6】 いいえ。

【1】 じゃあ勝負しろよ。

【6】 お断りします。

【1】 理由は。

【6】 また私が勝ってしまいますから。

【1】 そんなこと、やってみなきゃわからないだろ。

【6】 わかりますよ、やらなくても。

【1】 一回勝ったからって、なめるなよ。

【3】 マスターの勝ちに5枚。

【4】 マスターの勝ちに10枚

【5】 マスターの勝ちに全部。・・・賭けにならないな。【1】に あんた、自分の

勝ちに賭けるかい？

【1】 ・・・・馬鹿にしやがって。

【5】 馬鹿になんてしてませんよ。

【4】 強いんだよ、マスター。

【3】 俺らですら勝ったことがないんだ。あんたにや無理だよ。

【4】 だからやってみなけりゃわからないだろ。

【4】 負けないための最高の作戦って、なんだと思う？

【1】 さあ。

【4】 強い相手とは戦わない。これが一番。

【5】 昔の人は言いました。敵を知り、己を知れば百戦危うからずってね。

【1】 何が言いたいんだよ。

【3】 例えばさ、あんた自分が相撲で曙に勝てると思う？

【1】 いや。

【4】 じゃあ、将棋で羽生名人に勝てると思う？

【1】 いや。

【5】 じゃあ、早食いで新井和響に勝てると思いますか？

【1】 誰だ、それ。

- 【5】 NYネイサンズ公認のホットドッグ早食い世界チャンピオン。記録は12分で25本です。
- 【1】 無理だよ。
- 【3】 じゃあ、マラソンで高橋に。
- 【4】 バスケでアメリカに。
- 【5】 サッカーでブラジルに。
- 【3 4 5】 勝てないでしょう、あなた。
- 【3】 ビールでドイツ人に。
- 【4】 ワインでフランス人に。
- 【5】 ウオッカでロシア人に。
- 【3 4 5】 勝てないでしょう、あなた。
- 【3】 カレーでインドに。
- 【4】 タコスでメキシコに。
- 【5】 チャンポンで長崎に。
- 【3 4 5】 勝てないでしょう、あなた。
- 【3】 カレーでキレンジャーに。
- 【4】 お色気のももレンジャーに。
- 【5】 ニヒルなアオレンジャーに。
- 【3 4 5】 勝てないでしょう、あなた。
- 【3】 アクロバットで中国に。
- 【4】 テコンドーで韓国に。
- 【5】 マスゲームで北朝鮮に。
- 【3 4 5】 勝てないでしょう、あなた。
- 【3】 宗教で神に
- 【4】 裁判で国に
- 【5】 素手で熊に
- 【1】 勝てるか、そんなの。
- 【3】 なのにマスター相手には「やってみなけりやわからない」ふっふっふー。こいつは面白い。ナイスジョークだ、ベンジャミン。面白すぎて、ヘソがティーをボイルするぜ。

【3】【4】【5】、【1】を嘲笑う。

- 【3】 要するにマスターとあなたの差は、月とスッポン
- 【4】 ピンとキリ。
- 【5】 月に雁です。
- 【3】 だからさ、やめときなよ。悪いことあ言わないから。
- 【4】 わかってないのよ、自分の身の程と相手の大きさを。
- 【5】 孫悟空とお釈迦様。アリとアリのクイ。ヒルとビル。ミドリムシと緑魔子ぐらい違ってます。

【1】それはあんたらがそう思ってるってだけだろ。

【3】わかんない人だね、あんたも。

【4】そんなにお金が大事？

【1】金じゃない、プライドの問題だ。

【3】金だな。

【4】金ね。

【5】金ですね。

【1】だから違うって言ってんだろ。負けたままじゃプライドが許さないんだよ。借りは返す。それだけだ。

【3】プライドプライド言う奴に限って、金に汚ねえからな。

【4】体だけが目的なのに、愛って言うてみたり。

【5】モテるのが目的なのに、芝居って言うてみたり。

【1】勝手に人の内面を作るな。

【3】（無視）俺の経験で言うて、だいたいそういう奴に限って、足が臭い。

【4】（無視）そうそう、で、腋も臭い。

【5】（無視）股も臭い。

【3】（無視）セリフが臭い。

【4】（無視）服が臭い。

【5】（無視）息が臭い。

【3】【4】【5】、好き勝手に批判を繰り広げる。

【1】、何かに耐えるようにヒンズースクワット。

【1】押忍、押忍、押忍、押忍、押忍……

【3】シヨンベン臭い。

【4】汗臭い。

【5】納豆臭い。

【1】（我慢が限界に達した）ぶっ殺すぞ、てめえら！！

【1】、すらりと背中ネギを抜き、【3】【4】【5】に襲いかかる。

と、間に割って入った【2】、その太刀筋を真剣白刃取りで受け止める。

【1】（ネギを引き抜こうとして）ぬうううう！！

【2】、びくともしない。

その間に【3】【4】【5】に囲まれてしまう【1】。

【3】【4】【5】、【1】に対して、好き勝手にしっぺをしたりつねったりツッコミを入れてみたりする。

【1】（ネギを手放さず）痛、イテテテテ、やめろ、こら。

大きく、蝉の声。
圧倒的に夏が押し寄せてくる。

(シーン1終了)

蝉の声。

そこは真夏のグラウンドか。

【2】【3】【5】【6】は揃いの野球帽を被っている。

真夏の日差しに炙られて、地面からは陽炎が立ち上っている。

【3】

おい。サンシン。何こんなところで寝てんだよ。寝るなら日陰で寝ろよ。後ろだけ日焼けすんぞ。・・・オセロの駒みたいになんぞ。表がケントデリカットで、裏がウィッキーさんみたいになんぞ。おい、サンシン。

【5】

ひよっとして倒れてるんじゃないの？ 帽子かぶってないし。なんかヒクヒクしてるよ。

【3】

なんだよ。やべえじゃん。・・・マネージャー、水、水。

【5】

あと帽子も。

麦藁帽子をかぶった【4】、ペットボトルに入った水と帽子を持ってやってくる。

【4】

はい、お水。

【3】

(水を受け取って飲む) ほい。

【5】

(水の残りを受け取って飲む) ぶはー。

【5】、水を飲み干してしまったらしい。

【5】

やべ。マネージャー、ごめん、水もう一杯。

【4】、頷いて、水を取りに行く。

【5】、帽子で【1】を扇いだりしてみる。

【5】

暑っちなあ、本当。

【3】

たまんねえよな、本当。

【4】、水を持って戻ってくる。

【4】

はい、お水。

【5】

(水を受け取って飲む) うっはー。

【3】

(水の残りを受け取って飲む) ぶはー。

【3】、水を飲み干してしまったらしい。

【3】 やべ、全部飲んじゃった。・・・いいか、シヨンベンでもかけとくか。

【3】、ジツパーを降ろそうとする。

【4】 はい、お水。

【3】 なんだ、もう一本持ってんじゃん。(チャックを戻す)

【4】 暑いよね、本当。

【4】、腰に手をあて、ペットの水を健康的に一気飲み。

【4】 ふはー。・・・全部飲んじゃった。

(変な痙攣)

【5】 やばいよ、サンシン、なんか変な動きしてるよ。

【3】 やっぱりシヨンベンか。(チャックを降ろす)

と、そこに水を飲みながら【2】がやってくる。

【2】 なんしとん。

【3】 お、ゲツツー。いいところに。

【2】 何。

【3】 水くれ、水。

【2】 何するん。

【5】 (【1】を帽子で扇ぎながら) サンシン、日射病。

【2】 (いやな笑い) 馬鹿じゃん。

【3】 とりあえず、こっち向ける。起こせ起こせ。うわ、真っ青だわ。

【5】、ぐにやぐにやの【1】をなんとか抱き起こす。

【2】、水を口に含んで、【1】の顔めがけて霧を吹く。

飛び起きる【1】。

【2】、優越感に満ちたいやな笑いを浮かべながら去る。

【1】 火だるまなのに、ずぶぬれなのは、いったいどういうことでしょうか。

【5】 え、何？

【3】 気がついたよ。

【4】 大丈夫？ 保健室、行く？

【1】・・・今回こそは、今日こそは、違うと思っていたけれど、

【3】 サンシン、お前、何言ってるんだ？

【5】 やばいよ、煮えちゃってるよ。

【1】・・・今回こそは、今日こそは、違うと思っていたけれど、かすりもせず三振です。

【3】 とりあえず、日陰。
【5】 うん。

【3】 【3】 【5】 【1】 を抱えて上げて日陰に移動。
【4】 【1】 を扇ぎながら後についていく。

と、そこには赤ペンをもった【6】 がなにやら採点している。

【3】 あ、監督、おはようっす。

【4】 【5】 おはようございます。

【6】 はい、おはよう。（【1】 に気づいて）って何、どうしたの。

【5】 サンシン、日射病。

【3】 【5】 【1】 を日陰に横たえる。

【6】 どうせまた帽子被らないでフラフラしてたんでしょ。

【3】 それ、期末っすか。

【6】 そ。採点中。

【3】 あの、監督、今日の練習・・・

【6】 採点終わってからね。・・・はい、キャプテン、4番、ピッチャー、城くん。

18点。夏休み補習決定。

【3】 マジっすか？

【6】 マジです。

【3】 それじゃ甲子園出れないじゃないですか。

【6】 そういうセリフは予選で一回でも勝ってから言おうね。はい、夏の県大会の

目標は。

【3】 【4】 【5】 目指せ、ワールドじゃない負け。

【6】 はい、よくできました。

【3】 でも、うまくいけば一回戦突破。

【5】 もしかして、二回戦も。

【4】 ひよっとして三回戦も

【5】 あわよくば準決勝も。

【3】 ついでに決勝も勝ち抜いて、甲子園。

【4】 【5】 無理無理。

【6】 ま、目標を高く掲げるのはいいことだね。高すぎて見えないような目標もな
んだけど。

【3】 いや、うちの県ならできないことじゃないっすよ。

【6】 そうね、いきなり県大会から始まって、五回勝てば甲子園行けるもんね。

【3】 そうっすよね。5回ぐらいならまぐれで勝てるかもしれないっすよね。

【6】 もし甲子園出れたら、補習免除。

【3】 マジっすか？

【6】マジです。

【3】もしも甲子園の組み合わせ抽選会で1番のくじ引いたら、宣誓つすよ、選手宣誓。どうしよ、テレビに映っちゃいますよ、俺。

【6】甲子園、出られたらね。

一同、むなしい笑い。

【4】監督、レギュラー、どうします。

【6】どうするったって、男子部員10人しかいないしねえ。

【4】有り体に言っちゃうと、レギュラーどうしましよかって言うより、補欠、誰にしましよかってことなんですけど。

【3】誰ったって、ゲッツーかサンシンのどっちかだろ。

【5】どっちもどっちだよね。

【3】守備はどっちもたいしたことない。

【4】肩はどっちも弱い。

【3】スタミナはどっちもない。

【5】バッテリーはゲッツーのほうがバットに当たるだけまだまし。

【3】サンシンのほうが、ゲッツーとられないからましなんじゃねえの。

【5】ゲッツー、たまにヒット打つじゃない。

【3】10回に1回だろ。あとの9回ゲッツーじゃん。

【5】サンシンは10回が10回とも三振じゃない。

【4】結局、どっちのほうがマシなんだろ。

【3】俺、数学苦手なんだよ。わかんねえよ。

【5】監督、どうなんでしょう。

ゲッツーを1番打者にすれば？ 前にランナーいなかったらダブルプレイにならないでしょ。

【3】監督、さすが数学教師だ。

【5】論理的だ。

【6】で、ワンナウト1塁とかでゲッツーに回ってきちゃったら、すかさずゲッツーの代打にサンシンを送る。

【4】そしたら、サンシンがかならず三振するから、ツーアウト1塁で次のバッターに回るってわけですね。

【6】そ。ご名答。

【4】なんて後ろ向きな作戦なんでしょうか。

【6】しようがないよね。うちの場合。

【3】相手打線は、俺の時速9000メートルの剛速球とシヨンベンカーブでギリギリ舞い。

【4】要するに時速90キロじゃない。

【5】剛速球か、それ？

【3】ひよっとして、完全試合なんか達成しちゃったりして。

- 【6】　　そういう夢は、防御率が一桁になってから言ってる。
【3】　　【4】に俺、今何点台？
【4】　　（スコアブックを開いて）ええっと、ここ3試合で、防御率128.30かな。
【5】　　なんだそりゃ。
【6】　　一桁の前に二桁にしなきゃね。
【3】　　畜生、甲子園への道はきびしいなあ。甘くないっす。
【5】　　じゃあ、俺のシャープでクレバーなバッティングで、取られたら取り返す。
【3】　　お前の打率、一割七分じゃん。
【4】　　もちろんホームラン0本。
【6】　　せめて直球以外も打てるようになってねえ。
【5】　　・・・カーブ、禁止にならないですかねえ。
【3】　　なんねえよ。
【5】　　だいたい、球が曲がるとか反則ですよ。第一、潔くない。
【4】　　でも潔いってだけじゃ、人生渡っていけないしねえ。
【3】　　わ、なんだ、大人な発言だな、お前。
【4】　　相手が弱いところを徹底的に突く。・・・勝負の基本でしょ。例えばこうよ。

中ボス【5】登場。

- 【5】　　こんばんわ、ロシアのおんぼろ戦艦ミンスクです。
【4】　　ここ。だいたいこのへんが急所。というわけで、攻撃。発射！　ひゅーー、ちゅどーん！！

【5】、攻撃を受ける。

- 【5】　　後部格納庫被弾！！　どかーん。誘爆、誘爆、誘爆、にげまどう乗員。カニ。ウオッカ。ピロシキ。プーチン。（船が舳先を上にして直立）沈没。
【4】　　で、いよいよボスキヤラ登場。

【5】、ボスキヤラとして登場。

- 【5】　　どうも、ロシア名物、戦艦ポチョムキンです。
【4】　　ここ。だいたいこのへん（心臓のあたりを指して）が急所。というわけで、攻撃。発射！　この「（ひどい言葉）●●●●」！！

【5】、激しく傷つく。

【5】、さめざめと泣きながら隅のほうへ。

- 【5】　　（きわめてさだまさし的な気分になる）二人でこさえたおそろいの浴衣も今夜は一人で着ます。せんこう花火が見えますか、ぼとつ。着火。チリチリチリ

(導火線の焼ける音) どかーん。誘爆、誘爆、誘爆、燃え上がる艦内。にげまどう共産党員。エリッイン。キャビア。トロツキイ。ニコライ2世。(船が舳先を上にして直立) 沈没。

【4】 ステージクリア!

【6】 ねえ、いっそ甲子園じゃなくて、爆笑オンエアバトルとか目指してみたら。
【5】 いやです。NHKにでるなら、やっぱり甲子園です。

【4】 私はNHKのどじまんでもいいです。

【5】 夢としては、生活笑百科で相談員になることです。って、そうじゃなくて、ダメです。カーブは不許可です。だいたい、変化球って投げる方も肩とか肘とかにも悪いらしいじゃないですか。

【3】 何事もなかったみたいに話題をもどすな。

【6】 まあ、そうらしいね。

【3】 え、そうなんすか。

【5】 だいたい、球が曲がるとか落ちるとか、そういうのって魔球ですよ、魔球。悪魔の球。もし今が中世で、ここがヨーロッパだったら、カーブなげるピッチャーとか、みんな魔女狩りで磔の火あぶりですよ。火あぶり。遠赤外線と直火でこんがりスモークで。

【3】 何血迷ってんだ、お前。

【6】 君が高校球児やってるあいだは禁止にはなんないだろうしね。とりあえず素振りでもしたら?
【5】 畜生、世間の風は冷たいなあ。

と、【1】、むくりと起き上がる。

呆然としながらも、何か唄を口ずさみながら。

【1】 (栄冠は君に輝く)・・・雲は湧き、光あふれて 天高く、純白の球、今日ぞ飛ぶ。

【3】 お、起きた。生きてっか、サンシン。

【4】 大丈夫?

【1】 俺、何してんだ。

【4】 倒れたのよ。グラウンドの真中で。で、チョッキユウとキャプテンが見つけて、ここまで運んでくれたの。

【1】 雨は?

【4】 雨?

【6】 今日は朝から雨なんて降ってないわよ。見なさいよ、この見てるだけで馬鹿になっちゃいそうな、抜けるような青空。やせ細った難民の姿が良く似合う、早魃みたいに乾ききったグラウンド。

【1】 でも、ずぶぬれだったんです。

【6】 汗かいてたんでしょ。そんなになるまでほっとくから倒れたりするのよ。いつも言ってるように、ちゃんと帽子をかぶる。水は定期的に補給する。基本よ基本。

【1】・・・はい、すみませんでした。
【6】さ、採点も終わったし、練習練習。
【35】うーす。
【6】サンシンは休んどいたほうがいいわね。
【1】大丈夫です、やれます。
【6】駄あ目えく。サンシンは一回休み。

【2】、いやな笑いを浮かべて【1】を見ている。
【1】、それに気づいて・・・

【1】 なんだよ。
【2】 あ？ いんや、なんでも。ゆっくりお休みくださいね、と。

【2】、スタスタとグラウンドに消えていく。
【1】、その後ろ姿に向かって舌打ち。
【1】、ベンチに腰掛けて渋々見学。

【6】 じゃ、今日は守備の練習からね。
【35】（悲しそう）うーす。
【6】 なに。そのやる気のない返事。
【5】 「今日は」じゃなくて「今日も」でしょ、監督。

【3】 もう飽きたつすよ、守備練。
【6】 そういうことは、エラーしないようになってから言ってねえ。
【4】 こないだの試合なんか14エラーよ。後逸4、ワイルドピッチ3、暴投3、フイルダースチョイス2、落球2。コールド負けで、5回までしかやってないのに、14エラーって、ちよつとないと思うよ、この数字。

【35】（消え入りそうな声で）うーす。
【6】 点は取れてるのよ、一応。
【4】 一試合1点ですけどね。

【6】 相手が弱かろうと強かろうと、とりあえず1点はとってるのよ。ここ1年間の全部の試合で。ということは、どういうことでしょうか？・・・はい、キャプテン。
【3】 え、ということとは？ ということは、強い奴相手からでも1点とれるのに、弱い奴相手からは1点しか取れない。つまり例えるなら、得意な国語で14点しか取れないのに、苦手な数学でも14点しか取れない・・・ってどういうことだ？

【6】 監督、俺、数学もわかんねえけど、国語もわかってねえよ！！
【6】 ブブー。はい、チョッキユウ。
【5】 え、俺？ とりあえず1点とってるってことは・・・（混乱した）わっかまりましえーん！！！！

【5】、全身で「わからない」を表現する。

【6】 ブブブー。はい、マネージャー。

【4】 えっと、とりあえず一試合1点はとれるだけのバッティングができてるってことです。さっきのキャプテンの例えで言えば、難しかりうが、簡単だろが、どんなテストでも最低14点は取れるってことです。

【6】 正解。しかも5回までで1点だから、もしコールドにならなかつたら、2点取れるかもしれないってこと。

【3】 でも、監督。「点とつた」って言ったって、オオゼキが目えつぶって振つたらホームランになったとか、フォアボールで出たチョロQが、2盗塁決めて、相手のエラーでホームインしたとか、そんなんばつかでしょ。

【6】 いいのよ、手段なんてどうでも。野球に求められるのは結果だけなんだから。いくらい試合をしても、負けちゃつたらおしまい。逆にどんな勝ち方でも勝ちは勝ち。どんな取り方でも点は点。基本よ、基本。
【3】 はあ。

【6】 だから攻撃はひとまずこつちにおいて、まずはエラーをなくす。
【4】 できることを増やすんじゃないで、できないことを減らすわけですね。

【6】 その通り！ まず、そのためには守って守って守り倒す。専守防衛、わかる？
【3】 俺ら自衛隊っすか。

【5】 どうりで練習が厳しいと思った。
【3】 ひよっとして練習じゃなくて、訓練っすか。

【5】 練習試合じゃなくて総合演習なんでしょうか
【3】 俺らどこに派遣されるんでしょうか。

【5】 ゴラン高原でしょうか、それともエルサレムでしょうか。
【3】 行かせるなら、せめて短銃じゃなくて自動小銃の携帯ぐらいは許可してください。

【5】 ちゃんと撃つ前には「撃つぞく」って言ってから撃ちますから。
【6】 何言ってるんの、君たち。

【3】 すみません、心がこじやないどこかに飛んでました。

【6】 ほら、そろそろ水飲まないよ、ボールツとしてきてるんじゃないの。君らまでサ
【3】 ンシンみたいにぶっ倒れるわよ。
あ、はい。

【3】 【5】、給水。

【4】 監督の言うとおりに、たしかに一点も取られなければ、とりあえず負けることはないですよ。

【3】 そりゃそうだけさ。

【6】 はい、わかったんだったら練習練習。ほら、守備について。いくよく、千本ノ
【4】 ツク。（【4】に）ボールお願いね。

【4】
はい。

【4】、【6】にボールをトス。
鋭いスイングでノックを始める【6】。

【6】
いくよ、それ！

【3】
（正面でキャッチ）うす。

【6】
はい！

【3】
（キャッチ）うす！

【6】
はい！

【3】
（ダイビングキャッチ）うーす！！

と、いつ果てるかもしれない千本ノックが続く。

（が、セリフを書くときページ稼ぎだと思われるので書かない）

【3】
監督う！

【6】
何？

【3】
まだっすか？

【6】
まだまだあ！（打つ）

【3】
（捕る）マジで千本やるんすか。

【6】
マジです（打つ）

千本ノックが続く。

【6】
死ねえ。（打つ）

【3】
うーす。

【6】
くそお。（打つ）

【3】
うーす。

【6】
ハゲえ。（打つ）

【3】
これ、本当に練習っすか？

【6】
当たり前でしょ。（打つ）

嘘だ。じゃあなんで、打つときに「死ねえ」とか言ってるんですか。・・・監督、本当は監督が打ちたいだけなんですよ。ストレス解消なんですよ、そうなんですよ。

【6】
わかる？

【3】
だって、球が飛んでくる方向が滅茶苦茶なんすもん。

【6】
いいじゃない、実戦的で。

【3】
だいたい無理っすよ、千本なんて。数学よくわかんねえけど、このペース、なんか無理っばいっすよ。
【6】
そう？

- 【4】 だいたい1本10秒ぐらいですから、1分で6本。1時間で360本。全く休まずに同じペースでうち続けても、千本だと2時間46分かかります。
- 【6】 じゃあ、十人全員にノックしたら、ざっと28時間かかるわけね。
- 【5】 さすが、数学教師。暗算速い。
- 【6】 はい、ラストお！
- 【3】 (なんとかキャッチ) うーす。

【3】、倒れ伏す。

- 【6】 次、チョッキキュウ！ はい！
- 【5】 (正面でキャッチ) うす。
- 【6】 はい！
- 【5】 (キャッチ) うす！
- 【6】 (3球打つ) はいはいはい！
- 【5】 (全部捕る) うすうすうーす！！
- 【6】 次、ゲッツー！
- 【3】 え、こいつもう終わりっすか。
- 【6】 もう飽きた。ゲッツー、いくよ、はい！
- 【2】 (逃げる) うす。
- 【6】 はい！
- 【2】 (逃げる) うす！
- 【6】 はい！
- 【2】 (すれすれでかわす) うーす！！
- 【3 5】 取れよ！！！
- 【2】 だって、危ないやん。
- 【3】 ドッジボールやってんじゃねえんだよ。
- 【4】 いや、ドッジボールだって、逃げてばっかりじゃないでしょ。
- 【2】 だって、俺、ライトやもん。
- 【3】 ライトだったらよけんのかよ。
- 【2】 だって、ゴロとか飛んでこんもん。
- 【6】 それもそうか。じゃ、フライ上げるよ。はい！

【2】、打球を追いかけ、バンザイ落球。

- 【6】 惜しい、もう一本。いい？ すばやく落下点に入って、正面で捕る。基本よ、基本。それっ！(フライを打つ)

【2】、打球を追わない。

- 【3 5】 行けよ！！

【2】 だって、間に合わんもん。
【4】 間に合わなくても、取りに行かなきゃ駄目でしょ。
【2】 だって、センターの方が近いもん。
【6】 カバーよ、カバー。基本でしょ。
【2】 だって無駄じゃん。どうせセンター捕るんやし。
【6】 グズグズ言わない、ほら次行くよ！（フライを打つ）

フライが【2】の真上に上がる。

【2】 オーライ。

【2】、捕らない。

むなしく地面にはずむボール。

【3】 とれよ、馬鹿！！
【2】 だって、真っ正面じゃん。絶対落とさないうって。
【4】 そんなの捕ってからいいなさいよ。
【1】 監督。

と、【1】が監督のところへ歩み寄っていく。

【1】 俺がやります。
【6】 え？
【1】 ライト、俺がやります。
【2】 寝てるよ、サンシン。
【1】 どけよ、下手くそ。
【2】 あ？
【1】 本当は捕らないんじゃないんで、捕れないんだろ。
【2】 なんだと。
【1】 どけ、馬鹿。
【2】 じゃあ、お前捕れんのかよ。
【1】 当たり前じゃん。
【2】 三振しかできねえくせに。
【1】 そりゃ打つ方の話だろ。だったらお前だってゲッツーばかりじゃねえか。
【2】 時々ヒットもうつもんねえ。
【1】 十回に一回でかい顔すんなよ。
【2】 十回にゼロ回の奴に言われたかないなく。
【1】 絶対お前より俺の方がうまい。
【2】 いいや、俺だね。
【1】 俺だよ。

【2】俺だって。

【3】おい、やめろよ。底辺で争うのは。

【1 2】底辺ってなんだよ。

【5】だって、そうじゃん。補欠争いのトップ二人で、どっちがうまいって。それってアリがダニに向かって、俺の方が大きいって言ってるのと変わんねえじゃん。

【1】ダニを馬鹿にすんなよ、跳ぶぞ、コラア。

【2】アリを馬鹿にすんなよ、運ぶぞ、コラア。

【6】こちらこちら、やめなさい。

【4】そうよ、どうせみんなドングリの背比べみたいなんだから。

【1】いいよな、マネージャーは口だけ出してりやいいんだから。

【2】そうそう、いつも口ばっか。

【4】(カチンときた) なによ。・・・ちよつと貸しなさいよ。

【4】、【1】からグラブを奪い取る。

【4】監督、お願いします。

【6】ああ、もう、マネージャーまで。落ち着きなさいよ。

【4】手加減なしで、ビシッと一本お願いします。

【6】しょうがないわねえ。いくわよ、それっ！(打つ)

【4】、華麗に逆シングルでキャッチして、ファーストへ送球。

【4】(【1】【2】に) どう。

【3】上手い。

【5】マジで上手い。

【3】ちよ、ちよ、ちよ、マネージャー、試しに打ってみてよ。

【3】、【4】にバットを渡す。

【4】、あぶさんのように、水を一杯ひっかけ、バットに吹き付ける。

【3】いくぜ、剛速球、時速90000メートル！メートル、メートル、メートル(エコー)

【3】、渾身の投球。

【4】(フルスイング) とりゃー。

カキーンという、クリアな打撃音。

全員、球の行方を見送る。

遠くでガラスの割れる音。

【5】 すぎえ、場外行った。

【6】 あゝあ、あとで謝りに行かなきゃ。

【1 2】 ……

【3】 くらえ、しょんべんカーブ、カーブ、カーブ、カーブ、カーブ（エコー）

【3】、渾身の投球。

【4】 （フルスイング）ふんっ。

カキーンという、クリアな打撃音。

全員、球の行方を見送る。

またまた遠くでガラスの割れる音。

【5】 すぎえ、また行った。

【6】 あゝあ、まとめて謝りに行くか。

【1 2】 ……

【3】 ……負けたぜ、完敗だ。

【3】、悔しさのあまりか、下を向いてふるえている。

【4】 キャプテン？

【3】、顔を上げて。

【3】 マネージャー、一緒にモロッコに行こう。その体に、ボールを二つとバットを

一本追加してもらおうんだ。行くぞ、モロッコに。八時ちようどのあずさ2号で、

モロッコへ旅立つんだ。大丈夫、いまから性転換しても大会にはまだ間に合う。

【4】 えええっ!?

【3】 そして俺が玉をとって、女性ホルモン打って、マネージャーになる。畜生、負

けたよ、完敗だ。

【5】 性転換はともかく、どんな手を使ってでもいいから、なんとかして出られない

かな。サラシを巻くとかさ。

【3】 ぜったいにゲッツーとサンシンより使えますよ、監督。

【6】 そうねえ、ひよっとしたら君らより上かもね。

【1】 【2】、すっかり蚊帳の外。

【4】 いやあ、そんなことないですよ。

【3】 なんてそんなに上手いんだよ。

【4】昔から、お兄ちゃんのキャッチボールの相手させられてたし。中学の時、ソフトボール部だったし。
【5】ポジションは？
【4】どこでもできます。
【6】あれでしょ、中体連で全国大会に出たんでしょ？
【4】ええ、まあ。
【3】嘘、マジで。
【4】マジで。
【5】ソフト、続ければよかったじゃん。なんでマネージャーなんてやってんだよ。
【4】いや、なんか簡単すぎて飽きちゃって。
【35】・・・すげえ。
【6】大物の発言ね。

【1】【2】、危機感を募らせて・・・

【1】か、監督、お願いします。ノック、お願いします！
【2】いや、こつちです、監督。こつちにお願いします！
【1】こつちに、監督！
【2】こつちです、監督！！
【1】（構えて）へいへーい、バッチこーい。
【2】（構えて）へいへーい、バッチこーい。
【6】はいはい、いくわよ、それっ！（打つ）

強烈なゴロが【2】の方へ。

【2】マイボーー！

【2】、トンネル。

【2】、慌ててボールを追いかけていく。

【6】次行くわよ、それっ！（打つ）

【1】、【2】に気を取られて後ろを向いている。

【3】おい、サンシン、ボール！！
【1】え？

【1】、振り向く。

強烈なボールが顔面にヒット。
パカーンという音があたりに響く。

と、【1】の手の中からサイコロがこぼれ落ちる。
チンチロリンと、サイの転がる音。

【1】、呆然と立ちつくしたまま・・・

【1】　そして、1回戦。キャプテンのクジ運が冴えた。相手は県下でもウチと1・2を争う弱小の第二商業。ものすごい乱打戦になった。五十八対三十二。試合には勝ったけど、俺の出番は無かった。

2回戦。相手は堅い守りと防御率一点代の好投手を擁する三島学園。九回裏、1対0。ツーアウトランナー1塁。絶体絶命。相手ピッチャーの失投を、チョッキュウがサヨナラホームラン。もちろん俺の出番はなかった。

準々決勝、一番から九番まで三割バッターがそろった猛打の四条工業。モロッコ帰りのマネージャーが五打数五安打3ホームナーの大活躍。奇跡的に十二対十一の一点差で打ち勝つ。やっぱり俺の出番はなかった。

準決勝、春の選抜出場校、城明大第五。今度こそ本当に絶体絶命。ところが相手のチームの補欠部員が、本屋でエロ本を万引きしたのがばれて、相手が出場を辞退した。不戦勝。俺だけじゃなくて、全員出番がなかった。

決勝。双六大付属六角高校。九回裏、一対〇、ワンアウトランナー一塁。バッターは、ゲッツー。絶体絶命。いやな予感がした。体がカーッと熱くなって、まるで体中がじりじりと燃えているようで、目の前のグラウンドの音も景色も、どこか遠くの出来事のように思えた。・・・ああ、暑いなあ、・・・やっぱり、帽子、かぶるときゃよかった。

【1】、静かに崩れ落ちる。

【3】　サンシン！！

全員、帽子を投げ捨て【1】のところへ駆け寄る。
と、【6】、落ちたサイコロを拾い上げて・・・

【6】　1。「最後のチャンス。振り出しに戻る」

急速に夏が遠のいて行く。

(シーン2終了)

【1】を取り囲む一同。

そこはやはり場末の酒場か。

灼熱の太陽とはうつつかわった沈んだ光があたりを満たしている。

【3】 死んだか？

【4】 どうかな。

【5】 生きてるね。

【3】 でも虫の息だ。

【4】 植物人間ね。

【5】 生きながらにして死んでるね。

【3】 さすがマスター、凄腕だな。

【1】 (変な痙攣)

【3】 お、動いた。

【4】 ちよつとヤバめの動きね。

【5】 水でもかけてみるか。

【6】 (【2】に) はい、お水。

【2】、【6】から水を受け取る。

【3】 こんなやつションベンで十分だろ。(チャックを降ろす)

【6】 やめてよね、店の中なんだから。

【3】 へいへい。(チャックを上げる)

【5】、ぐにやぐにやの【1】を抱き起こす。

【2】、水を口に含んで、【1】の顔めがけて霧を吹く。

飛び起きる【1】。

【1】 ……火だるまなのに、ずぶぬれなのは、いったいどういうことでしょうか。

【3】 なんだそりゃ。

【4】 知らないわよ。

【5】 自分で考えたら？

【1】、正気を取り戻す。

と、【1】地面に転がっていたネギを掴み……

【1】 勝負しろ、コラア！！

【1】、またもネギを振り回しながら暴れまわる。

と、【6】、巧みに【1】のバックをとって、スリーパーホールドを決める。

【6】 言ったでしょう、熱くなっちゃあ、バクチには勝てませんよ。
【1】 (喋れない)・・・。

【1】、手足をばたつかせてもがく。

【3】 威勢だけはいいんだけどねえ。
【4】 なんかそれがイマイチ生かされてないのよねえ。
【5】 空回りの生きた見本だね。

【1】、あきらめたのかおとなしくなる。

【3】 なんだ、もう終わりかよ。
【4】 根性無いわね。
【5】 体力もね。
【3】 金もない。
【4】 運もない。
【5】 さりとて腕があるわけでもない。
【3】 集中力も無い。
【4】 持久力も無い。
【5】 記憶力も無い。
【3】 忍耐力も無い。
【4】 冷静さも無い。
【5】 大胆さも無い。
【3】 ・・・あんた、やっぱりバクチに向いてないよ。

【6】、【1】を開放する。

【1】

【1】、扉の方へ進む。

【6】 逃げるんですか？
【1】 ・・・。
【6】 ああ、失礼、帰るんですけど。でも、それじゃ何も変わらない。
【3】 マスター、もう帰してやりなよ。
【4】 ダメなんだってば、こいつ。
【5】 時間の無駄だよ。

【1】、振り向く。

【1】

・・・勝負だ。

【6】

そうこなくつちや。

【1】

勝負だ。

【1】、【6】を指差す。

が、その指は横へスライドしていく。

そのたどり着いた先には【2】の姿がある。

【345】

は？

【2】

(自分を指して)へ？

【1】

勝負だ。こいつからはじめて、順番にケツの毛まで抜いてやるから、覚悟してろ。

【3】

多分無理だな。

【4】

おそろく無理ね。

【5】

間違い無く無理だ。

【3】

何故なら、俺らにはケツに毛がないからだ。

【345】

わーっはっははー！！

【45】

じゃなくて。

【3】

無理だよ。まぐれだけじゃ、5回も続けちゃあ勝てないよ。

【4】

勝負の世界はそんなに甘くないってこと。

【5】

単純に計算しても、あんたが5回連続で勝つ確率は32分の1。

【3】

だいたい百回に三回だ。

【5】

つまり確率にして3%。

【4】

あなたが私たち全員に勝つなんてことは、まずありえない。

【3】

なんせ百回に三回だからな。

【4】

ま、最初ぐらいは勝てるかもしれないけど？

【5】

最初は五分五分だからね。

【345】、失笑を漏らす。

テーブルにつく【1】

【2】

こい。といたいところだけど、(お金のサイン)持ち合わせが。

【6】、【2】にハッピーターンを山盛り渡す。

【2】

マスター！

【3】

なんていい人だ。

【4】

なんともまあ。

【5】 涙がでるねえ。
【6】 貸しとくよ。給料3ヶ月分。
【3】 なんて人だ。
【4】 なんだかなあ。
【5】 涙がでるねえ。
【6】 利息は十日で一割。
【3】 ひどい人だ。
【4】 なんてかなあ。
【5】 涙も枯れたね。

【2】、その給料3ヶ月分のハッピーターンを手に【1】の待つテーブルへ進む。

【2】、着席。サイコロを手にする。

【2】 どうぞ、お先に。
【1】 いや、どうぞ。
【2】 どうぞ。
【1】 お先にどうぞ。
【2】 いいえ、そちらこそお先にどうぞ。
【6】 どっちが先に振るか、サイコロで決めたら？ 出た目の小さい方が先。
【3】 いいんじゃないねえの？ なあ。
【1】 よし、ほい。（気楽にサイコロを振る）

サイコロの音が響く。

【1】 6。うわあ、勿体ねえ。なし、今の無し、これが本番。
【3】 ダメに決まってんだろ。
【4】 弱いだけじゃなくて卑怯ね。
【5】 今ので運を使い果たしたな。
【2】 （サイコロを振る）ほい。2。
【6】 じゃ、お客さんが後からね。
【2】 じゃ、行きます。（緊張しながらサイコロを振る）はいっっ！！

サイコロの転がる音。

静かな間。

【2】、頭を抱える。

【2】 ああ。
【6】 2。「用水路に落ちる。一回休み」

【1】、嫌な笑みを浮かべる。

【3】 喜んでる？

【1】 (喜んでる) 別に。

【4】 嬉しいでしょ？

【1】 (嬉しい) 別にいい。

【5】 勝ったつもりでいるでしょ？

【1】 (勝ち誇って) 別に。

【3】 思ってるな。

【4】 思ってるわね。

【5】 間違いないね。

【3 4 5】 あんた、本当に嫌な奴だな。

【1】 なんとでも。

【4】 昔の人は言いました。人を呪わば穴二つ。

【1】 橋田寿賀子は言いました。他人の不幸は密の味。渡る世間は鬼ばかり。(笑いが我慢できなくなった)

くくくく。馬あ鹿あがあ！！

【2】

【1】 2だって。くくくくく、シケた数出してんじゃねえよ。

【6】 御託はそのぐらいいにして、そろそろ振ったらどうです。

【1】 言われなくなつて、やってやるよ。

【2】 (祈る) 神様仏様お釈迦様稲尾様、仏陀キリストマホメット麻原こと松本、シヴァサイファアポロンゼウス福永法源なんでもいいから助けてください。南無阿弥陀仏アーメンアラ―修行するぞ最高ですかこのままではガンになるよ、うひゝ(祈りつつける)

【1】 いくぞ、ほれ。

【1】、余裕綽綽でサイを振る。

【2】、硬く目を閉じて、祈る。

チンチロリンと、サイの転がる音。

出た目は・・・1だ。

呆然と立ちつくす【1】。

【2】、目を片方ずつ開け、出た目を確認する。

【2】、喜び大爆発。

【6】 1。「初球見逃しでストライク。ふりだしに戻る。」

【2】 いやった。ありがとう、神様仏様お釈迦様稲尾様そして皆々様。

【2】、全員に握手して回る。

【3】よくやった。
【2】ありがとうございます。
【4】頑張ったわね。
【2】ありがとうございます。
【5】危なかったな。
【2】はい、本当に冷や冷やしました。

【2】、マスターの前へ。

【2】マスター!!
【6】バイト!!
【3】なんていいシーンだ。
【4】なんともまあ。
【5】涙がでるねえ。
【2】(駆け寄る) マスター!!
【6】(抱きとめて) 貸したもんはちゃんと利子つけて返してね。
【3】どういふシーンだ。
【4】なんともまあ。
【5】涙がでるねえ。

【1】、今だ茫然自失のまま。

【1】・・・おい、嘘だろ・・・勝負だ、勝負しろ!!
【2】(イヤイヤをする)
【1】勝ち逃げする気か?
【3】だったらあんたは負け逃げだ。

【1】、失笑の渦に飲まれる。

【3】相手してやろうか、俺が。
【4】いやいや、私が。
【5】是非私と。
【1】(搾り出すように) 馬鹿にしやがって。【2】に) 勝負しろ。
【2】お断りします。
【1】勝負しろって言ってんだよ。
【2】それが人にものを頼む態度ですか?
【1】なんだと。
【2】人にものを頼むときは、それなりのやりかたつてのがあつてでしょ。
【1】どういう意味だよ。

【2】 「勝負してください、お願いします」でしょ。

【1】、屈辱のあまりに葛藤。

【1】 勝負・・・してください、お願いします。
【2】 この通りです。

【1】、一瞬怒りを爆発させそうになるが、なんとか耐える。

【1】 この通りです。

【2】 頭を下げて。

【1】 (頭を下げて) この通りです。

【2】 もっと下げて。

【1】 (もっと下げて) この通りです。

【2】 地べたに這いつくばって。

【1】 この、この、この野郎、調子乗ってんじゃねえぞ！！

【1】、【2】の胸倉を掴む。

場の緊張感が一気に増す。

【3】 で。どうするんだい。殴るのかい。それでどうなるんだよ。殴れば気が済むのか。あんた？

【1】 あんたにや関係無いだろ。

【3】 座れよ。俺が相手してやるからよ。

【1】 俺が勝負したいのはあんたじゃない。

【3】 さっき言ってたろ、順番にケツの毛まで抜いてやるってよ。抜いてみるよ。それともやる勇気がないのか。

【1】 なんだと。

【3】 怖いんだろ、俺が。

【1】・・・
【3】 弱い奴相手にしか、上がんねえのか、その拳は。サラリーマンか、テメエ！！

【1】、その言葉に【2】を放り捨て、【3】の方へ。

激しい睨み合いになる。

【1】 誰がサラリーマンだ。

【3】 ギャンブラーには見えねえなあ。

【1】 馬鹿にすんじゃねえぞ。

【3】 やるのか、やらないのか、どっちだよ。

【1】 アイツのあとにゆっくり相手してやるから待ってる。

- 【3】 雲は湧き 光あふれて
- 【4】 天高く 純白の球 今日ぞ飛ぶ
- 【5】 若人よ いざ
- 【2】 まなじりは歓呼に答え
- 【6】 いさぎよし 微笑む希望
- 【2く6】 ああ 栄冠は君に輝く

地の底からはい上がるような、眩くような応援歌。

【1】、その「栄冠は君に輝く」を背にしながら・・・

全国高等学校野球選手権大会の歌

「栄冠は君に輝く」

作詞…加賀大介

作曲…古関裕而

雲は湧き 光あふれて
天高く 純白の球 今日ぞ飛ぶ
若人よ いざ
まなじりは歓呼に答え
いさぎよし 微笑む希望
ああ 栄冠は君に輝く

風を打ち 大地を蹴りて
悔ゆるなき 白熱の力ぞ 技ぞ
若人よ いざ
一球に 一打に賭けて
青春の 賛歌を綴れ
ああ 栄冠は君に輝く

空を切る 球の命に
通うもの 美しく匂える健康
若人よ いざ
緑濃き棕櫚（しゅろ）の葉かざす
感激を 目蓋に描け
ああ 栄冠は君に輝く

【1】

いやな予感がした。ワンアウトランナー一塁。バッターは、ゲッツー。きつと代打は俺だ。体がカーッと熱くなって、まるで体中がじりじりと燃えているように、目の前のグラウンドの音も景色も、どこか遠くの出来事のように思えた。

監督が俺の方を向く。絶体絶命。きつと代打は俺だ。ワンアウトランナー一塁。バッターは、ゲッツー。バントが滅茶苦茶下手なゲッツー。人の言うことを全然聞かないゲッツー。サインを全然覚えてないゲッツー。自分勝手なゲッツー。そんなどうしようもないゲッツーより、ほんの少しだけマシなだけの俺。バントが普通に下手な俺。人の言うことに流されやすい俺。サインをちよつとは覚えていない俺。優柔不断な俺。

監督がベンチを立った。心臓の音がやかましいくらいに聞こえる。胃が上の方にあがってきて、今にも吐きそうさ。口の中から血の味がする。音も景色もどんどん遠くになっていく。・・・ああ、雨、降らないかなあ。遠足行きたくないなあ。トラベルミン飲んでも吐いちゃうし、どうせ誰も僕の隣に座ってくれないんだろうなあ。テストも全然できなかったし。学校、火事にならないかなあ。

【6】

タイム！ 代打、サンシン。

【1】、その声に反射的に立ち上がってバッターボックスへと歩き出す。

【1】

地面がふわふわする。なんだか夢の中にいるみたいで体が重い。バットを握った感覚もなんだかぼんやりしている。まるで夢の中にいるみたいだ。なんだ、そうさ、夢なんだ。

【1】、バッターボックスに立つ。

ズバーンと目の覚めるようなストレートが決まる音。

一気に夏が押し寄せてくる。

【6】

一球目、見逃しのストライク。

【1】

助けを求めるようにベンチを見た。サインは、送りバント。手がふるえてねらいが定まらない。インコース高めに速い球。バットを出したまま、思わず目をつぶった。

【6】

二球目、空振り。ツーストライク。

【1】

スタートしてたチョロQが二塁に向かって必死に走る。球はキャッチャーからもの凄い勢いでセカンドへ。タッチ。・・・審判の手が上がった。

9回裏、ツーアウト、ランナーなし。カウントはツーナッシング。バッターは俺。絶体絶命。いくら振り向いても、ベンチは静かなままだった。監督ももうサインを出さない。バットを握った手のひらはぐっしりと濡れて、とてもバットを振れるような状態じゃない。タイムが取りたい。汗を拭きたい。でもそれを言い出すことすらできないほど、体が熱い。火だるまです。景色も音も遠い。自分の体が自分の頭の言うことをきかない。金縛りです。ピッチャーがゆっくりと振りかぶり、投球モーションに入った。もうタイムもできない。

【6】　そして、突然の夕立。

強い風に、扉が吹き飛ぶ。
雷鳴とともに、突然の夕立。

【1】　・・・畜生、今頃降ったって遅いんだ！！！！

【1】、固く目を閉じたまま、ネギを振り上げ、滅茶苦茶に振り回す。

【6】　さあ、勝負です。背負うものも、守るものすらなく、言い訳を抱えながら逃げ続けてきたあなたです。賭けるものも、目指すものすらなく、サイを振ることすら拒み続けてきたあなたです。幾千幾万の勝負に目を背け、目を逸らし続けたあなたです。そんなあなたの最初の言い訳。それを打ち碎けば、きつと何かが変わるはず、きつと何かが出来るはずです。人生なんて一か八かの七五調。お客さん、・・・明日（あした）をかけてみませんか？

【6】、投球モーションに入る。

【1】、サイコロを握りしめ、ただ立ちつくす。

【6】、渾身の投球。

時間の流れが静かに止まる。

【3】　さあ、最後のチャンスだ。
【4】　打つ？

【5】　それとも見逃すかい？

【3】　振るのが怖いか？

【4】　でも、振らなきゃ何も始まらない。

【5】　見送ってばかりじゃ、よくてフォアボールだ。

【3】　たしかにゲッツーはないけどな。

【4】　それでいいの？

【5】　そうやって生きるかい？

【3】　目を閉じて、耳をふさいで、

【4】　ゲッツーもなければホームランもない

【5】　そんな後ろ向きの人生、送ってみるかい。

【3】　振ってみろよ。

【4】　何も考えずに。

【5】　自分の体に聞いてみなよ。

【3】　振りたいんだろ、本当は。

【4】　振りたいんでしょ、本当は。

【5】　打ってみたいんでしょ、本当は。

【3】　振ってみせろよ。

【4】もし、駄目だったとしても。
【5】もし、当たらなかったとしても。
【3】もし、三振だったとしても。
【4】君のせいじゃないって言ってあげるから。
【5】君が慰めてほしいなら、頑張ったなって言ってやる。
【3】君が怒ってほしいなら、馬鹿野郎って言ってやる。
【4】君がそのバットを振る限り、
【5】君がその思いをぶつける限り、
【3】誰も君のせいだなんて思わない。きっと、運が悪かっただけさ。
【4】きっと、巡り合わせが悪かっただけ。
【5】きっと、何かが少し足りなかっただけ。
【3】栄冠は君に輝かないかもしれない。それでも。
【4】ドンマイ。そう言ってあげるから。
【5】ドンマイ。そう言ってあげよう。
【3】ドンマイ。そう言ってやるから。
【3 4 5】打てよ、コラア!!!!!!

時間が再び動き出す。

【1】、渾身のスイング。

だが、ボールはバットにかすりもしない。

・・・三振。

あまりのスイングの勢いに、キャッチャー【2】、ボールを後逸する。
駆け出す【1】。

【3】逃げた。

【4】逃げた。

【5】振り逃げだ!!

【1】、その声に力強く・・・

【1】逃げてるんじゃないねえ、走ってるんだ!!

【1】、何かを振り切るように、力強くサイコロを振る。

音楽!

堰をきったように、あふれ出す無数のサイコロ。

暗転。

(シーン3終了)

闇の中から、サイコロを振る音が響く。
明転。

(以下の人生双六の内容は基本的に日替わりで)

- 【3】 3。んーと「高校入学。体を鍛えなさいとアブレックスをもらおう」
- 【4】 4。1、2、3、4と。「キューティ鈴木と会う。うれしいので3進む」
・・・うれしいか？
- 【5】 5。1、2、3、4、5。「ヤフー株を買って大儲け。2進む」いえーい。
- 【6】 6。1、2、3、4、5、6。「国見高校入学。3進む」
- 【2】 2。1、2。「車を買ってもらおう。10進む」ひゃっほー。
- 【3】 3。んーと「大学入学。もつと体を鍛えなさいと、アブ・ドゥアーをも
らおう」
- 【4】 4。1、2、3、4と。「パイヤ鈴木と会う。うれしいので3進む」
・・・うれしいか？
- 【5】 5。1、2、3、4、5。「ヤフー株大暴落。8戻る」とほほー。
- 【6】 6。1、2、3、4、5、6。「青学入学。3進む」
- 【2】 2。1、2。「無免許運転で逮捕。20戻る」ひゃー。
- 【3】 3。んーと「会社に入社。体を更に鍛えなさいと、アブトレーナーをもらおう」
・・・腹筋ばかりやんげ。
- 【4】 4。1、2、3、4と。「マック鈴木と会う。うれしいので3進む」
・・・うれしいか？
- 【5】 5。1、2、3、4、5。「光通信株を買って大儲け。2進む」いえーい。
- 【6】 6。1、2、3、4、5、6。「横浜フリーゲルス入団、3進む」
- 【2】 2。1、2。「免許を取りに行く。学科試験で落ちる。恥ずかしいので3戻る」
- 【3】 3。んーと「昇進試験に失敗。くじけちゃ駄目よとアブドリープラスをもらおう」
母ちゃん、もう押入いっばいだよ。
- 【4】 4。1、2、3、4と。「ベーターベン鈴木と会う。うれしいので3進む」
・・・うれしいか？
- 【5】 5。1、2、3、4、5。「光通信株大暴落。8戻る」とほほー。
- 【6】 6。1、2、3、4、5、6。「チームが無くなる。10戻る」
- 【2】 2。1、2。「なんとか免許を取る。2進む」
- 【3】 3。んーと「昇進試験に合格。合格できたのは腹筋のおかげ。どんどん体を鍛
えなさいとアブアイソレーターをもらおう」お母ちゃん、もういらないます。
- 【4】 4。1、2、3、4と。「ウド鈴木と会う。うれしいので3進む」
・・・うれしいか？
- 【5】 5。1、2、3、4、5。「金の先物が当たり。10進む」いえーい。
- 【6】 6。1、2、3、4、5、6。「横浜Fマリノス入団。3進む」
- 【2】 2。1、2。「免許証の写真が変な顔。10戻る」

【3】 3。んーと「転職。心機一転がんばりなさいとアブシェイパーをもらう」母ちゃん、もう腹筋が割れて割れてしょうがないくらい鍛えられています。腹筋だけですごくバランス悪いと思います。

【4】 4。1、2、3、4と。「鈴木史朗と会う。うれしいので3進む」
・・・これはちよつとうれしい。

【5】 5。1、2、3、4、5。「地上げに成功。10進む」いえーい。

【6】 6。1、2、3、4、5、6。「A代表に選ばれる。3進む」

【2】 2。1、2。「初ドライブで水路に落ちる。10戻る」

【3】 3。んーと「定年退職。ボディブレッドをもらう」・・・母ちゃん、いいかげん自分がいらなくなった通販、俺んここに送ってくんのやめるよ。

【4】 4。1、2、3、4と。「鈴木大地と会う。うれしいので3進む」

・・・もう忘れてるでしょ、バサロとか。

【5】 5。1、2、3、4、5。「バブルがはじける。30戻る」とほほー。

【6】 6。1、2、3、4、5、6。「トルシエに無視される。10戻る」

【2】 2。1、2。「高速道路を逆送して免許取消。20戻る」ひー。

【3】 ・・・遅いな。

【4】 うん。

【5】 どこまで行ったんだろう。

【6】 さあ。

【3】 戻ってくるかな。

【6】 さあ。

雷鳴。

夕立の音が室内に流れ込んでくる。

【6】 その白線の彼方。あまりの雨に煙ったその向こう。いったい彼はどこまで駆けていったのか。雲はどんよりと重く、光溢れない土砂降りのグラウンドに、天高く純白の球が飛ぶこととはついぞなく、ファーストに向けて走り出した彼の姿は水煙の向こう。たどり着いたのか、それとも道の途中で力つき倒れたか、ファーストを越え、ライトに向かって走り抜けたのか。そんな彼の姿は、そのサイの目もわからぬままに、水煙の向こう。そのサイの目もわからぬまま、雨に煙ったその向こう。そのサイの目は

音楽。

全員の視線が一斉に扉に注がれる。

扉のその向こう、ずぶぬれの【1】が姿を現す。

【1】 2だ。

【1】、その手に金属バットを手に帰還。

【1】、双六の輪に加わり・・・

【1】

- 2。1、2「キャッチャーが一塁に暴投。セカンドに進む」
- ・・・結局、次のバッターがピッチャーフライを打ち上げて、ゲームセット。
- ・・・夏は、終わりました。

優しい音楽。

【1】

- 2。「大学に補欠合格。1進む」
- 2。「スクワットのやりすぎでギックリ腰。一回休み」
- 2。「年末ジャンボで5等があたる。三千円もらって1進む。」
- 2。「雨に濡れて風邪をひく。一回休み」
- 2。「ジュースを買ったら2本出てきた。1進む」
- 2。「単位が足りずに留年。一回休み」
- 2。「駅のホームについた瞬間に電車が来た。1進む」

その遅れを取り戻すかのように、【1】はサイを降り続ける。
いつまでもサイの転がる音だけが響き続ける。
やがて、暗転。

(幕)

脚本執筆に際し、下記の文献を参考にしました。

「ギャンブル人生論」 阿佐田哲也
「ああ、勝負師」 阿佐田哲也